



*海老名教会に繋がっている方々へ 共にお祈りを合わせましょう！

6月3日(水) 創世記3章1~24節 讃美歌 21-533

「女が見ると、その木はいかにもおいしそうで、目を引き付け、賢くなるように唆していた。女は実を取って食べ、一緒にいた男にも渡したので、彼も食べた。二人の目は開け、自分たちが裸であることを知り、二人はいちじくの葉をつづり合わせ、腰を覆うものとした。」 (創世記3:6,7)

最も賢いもの、サタンのシンボルである蛇の誘惑を受けた女は、今まで神様への畏れと愛のしるしであった禁じられた木を、全末梢神経を刺激する魅力あるものとして見ています。その本能のままに、その実を食べ、男にも取って渡します。それに対してアダムは何も言わず、食べてしまいます。その実を食べると賢くなりそうであったと思っていた二人は、お互いの恥が見え、隠さなければならなくなりました。また、神様の前からも身を隠す者になります。神様との、また人間同士との信頼が崩れる関係になってしまいました。愛し合った二人の一体性は壊れ、責任転嫁の醜い存在になってしまったのです。しかし、神様は隠れている二人に近づかれ、呼び出してくださいます。それは裁きではなく、恵みでした。二人は自分の罪の結果を背負って生きていかなければならなくなりましたが、二人に皮の衣を作り、着せてくださったことは、命による赦しと希望が与えられていることです。女の子孫が誘惑者サタンに勝利するという約束は、主イエス・キリストによる救済がすでに示されているのです。背いた者を赦し、死んだものを生かす主の愛と御業がここにもあります。私たちの救い主イエス・キリストによって示された、神様の愛に感謝しつつ歩んでいきましょう。

<祈りの課題>

1. 6月14日から始まる、海老名教会の礼拝に聖なる霊が豊かに注がれますように。主の御導きと祝福を祈りましょう。
2. 海老名教会の一人一人の信仰と健康が守られますように。主に守られ、喜びと平安のうちに歩まれる日々でありますよう祈りましょう。
3. 日本だけではなく、全世界の教会が、この試練の中で主のみ言葉を力強く示し、伝道の業を成し遂げていくことができますよう祈りましょう。
4. コロナ・ウィルスの試練が、人間相互間の愛と絆を一層強める機会となりますに。また、自然と正しく向き合う知恵を得ることができますよう祈りましょう。
5. 医学的に良い結果が得ますように。研究に励んでいる人々のために祈りましょう。そして、コロナ・ウィルスの患者のために治療を行い、看病や世話をする人とその家族のために祈りましょう。
6. 今、病に苦しんでいる人々、また、不安と孤独の中にいる人々、経済的に苦しみを覚えている人々のために祈りましょう。
7. 子どもや高齢者、障害を持っている人々が、社会の苦しい状況の中でも守られますよう祈りましょう。

